

彫刻学科

学科理念・教育目標

彫刻学科は、「もの」をつくることから自己実現を追求する人々のための環境です。

sculpture（彫刻）は、人類がその手で産み出した遺産の中でも＜道具にならない「もの」＞の世界であり、その概念に対する問いかけの歴史です。この特殊な「もの」を産み出し、「もの」を他者と共有するプロセスは、人と社会、さらには未知の世界とを繋げる、芸術の最も根幹となる技術の一つと言えるでしょう。本校における彫刻学科の誕生は、武蔵美がりべらるな理念のもと、美術家の育成を目指して学校を創立した2年後の1931年に遡ります。現在、私たちはこの概念に対して出来る限り自由なアプローチを試みるために様々なカリキュラムを組み、学生それぞれの視点で新たなアリティを見つける、言わば身体的な思考法を身につけることを基礎としています。

私たちが「彫刻学科」を名乗るのは、制作や研究に携わる各々が自由な表現を完成させることで、sculpture(彫刻)に対して同時代の血肉を与えること。言わば「問いかけ」となることを目的としているからです。それは、必ずしも社会の中で美術家として活動することに限りません。つくることを通して到達した様々な職業や生活においてもそれぞれの方法で、社会や芸術に対する視座を獲得し、その概念を動かしてゆくことでもあります。そのために「つくることとは何か」を「つくること」を通して考える。これが私たちの学科の理念です。

カリキュラム構成・教育環境	全体	<p>触覚の持つ知覚の根源性と表現の多様性を根本に置き、ひらかれた環境の中での専門性の追求を目指します。1～2年の基礎過程では素材と対峙することで得られる身体的な思考を培い、基本的な表現技術と課題の設定力、素材と表現を起点とした多様な美術の歴史的な視点を学習します。3年以降は各テーマに従って制作を行い、同時代そして過去の作品を見る力を養います。学生は、制作環境をひとつの教室やコースに留める必要はありません。目的によって環境を選択することが可能であり、多方面の視点から作品の批評を受けることのできる体制をとります。</p>
	<p>基礎課程（1～2年次）</p>	<p>彫刻の表現は、私たちがよく知っているもの（物質や現実や技術など）を見つめ直すところから始まります。しかしこの領域は非常に幅広く、そこには素材に対する感じ方や、「もの」「現実」に対する考え方の違いがあります。しかし私たちはその違いを超えて感動したり、それを通して世界を広げたりすることができる。それらを可能にするための実習がこの基礎課程です。＜「よく知っているもの」を疑うための様々な方法＞これを私たちは表現の「基礎」と考えています。この「基礎」を巡る問題に対して一人一人が実習を通して様々なアプローチで身につける、というのがこの課程の目標です。「つくること」「みること」「かんがえること」をひとつの表現の中で捉える、それぞれの方法の探求が始まります。</p> <p>1年次 触覚についての理解を深め、正確な立体造形力、差異を意識した制作展開、触覚を基底とした立体的なイメージーションを身につけ、多様な表現方法を通じて、彫刻概念の基礎を自分自身の視点で習得します。</p> <p>2年次 全て選択制のカリキュラムで、各自が目的に従ってカリキュラムを組みます。前半を塑造実習、後半を実材実習として、少人数制の集中的な指導により表現技術を習得し、素材の歴史性と独自性を考える実習となっています。</p>

<p>カリキュラム 構成・教育 環境</p>	<p>専門課程 (3～4 年次)</p> <p>彫刻学科のカリキュラムは、3 年次からは自由課題としてそれぞれの専門性を追求してゆく場が用意されています。概略に示した通り、私たちの学科は彫刻の概念を、広い範囲で同時代の表現として捉えています。つまり「これが彫刻だ」と教えるのではなく、彫刻に対する疑問や様々な彫刻についての思考が交差する環境が、3 年次以降の制作の場となります。自由課題とは、課題そのものの設定や作品制作に至るプロセスについて、実習を通して自由に考えてゆく段階です。「独自性の追求 (originality)」「専門的な探求と習作 (study)」「素材や表現の実験 (exercise)」など、各自が焦点を絞った表現の探求を行います。また作品に対する批評も造形的な観点に加えて、歴史的な観点、同時代的な観点、社会的な観点など、多方面からのアプローチにより、学年に伴いステップアップしてゆくカリキュラムとなります。</p> <p>また、3 年次からは、より自由な制作を進めるために 専門工房を駆使した制作が始まります。彫刻学科には様々な素材を研究する 7 種類の工房が設けられていますが、学生は計画的にそれらの工房を選択しそこをベースに制作してゆきます。それぞれの教員が工房において深く関わると同時に、その枠組みを超えて、工房を「横断」出来ることも大きな特徴です。専門性に対して新しい解釈を生み、深く一つの領域・素材を追求することも、横断することを通じて独自のジャンルを構築してゆくことも可能なシステムとなっています。自身の視点を探求し発信してゆくステップアップ型のカリキュラムを縦系とするならば、横系に相当するのが素材別工房による指導です。</p>
<p>3 年次</p>	<p>多様な専門工房を駆使した制作を行い、素材に対する各自の固有の関わりを探求します。主体的に課題の設定を行えることを目標とし、同時代の表現についての視座を探る講義演習系の授業も平行して行われます。前半はイメージの実現化を目指し、後半は自己の制作を分析し展開する可能性を探り、表現力を深めてゆく実習になります。</p>
<p>4 年次</p>	<p>素材に対する各自の専門性を深め、これまで培ってきた表現力の展開を、客観的な視点と社会に発信していく方法を通して追求します。その過程で、表現の責任と独自性、作品が成立する地平と歴史への意識を様々な方面から問い、批評を加えていく指導を行います。</p>

工房について

■基礎工房

基礎課程の授業及び造形総合カリキュラムの授業はすべてここでを行います。カリキュラムに従って使用する素材設備等、工房内のアレンジメントは変わってゆきます。

■塑造工房

塑像制作に関する総てと、目的に応じた型取りの方法の指導を行います。この工房は採光に優れ、人体モデルを使って制作するスペースと、自由塑像として粘土等の可塑性のある素材による制作、及び石膏型取りをするためのスペースを有します。

■金属セラミック工房

鉄工や鋳造・セラミックなど、重機や火器を使用する制作のための複合工房です。天井高 10m 以上の空間と 3 基の天井クレーンを持つ大工房ですが、授業内容に合わせたフレキシビリティがあり、特に安全面には万全の配慮がなされています。

○金属

現在この工房では、アーク・ティグ溶接機、ミグ溶接機、エアープラズマ切断機、各種旋盤、フライス盤、シャーリングマシン、ベルトソー、酸素アセチレンガス、コークス炉、各種ボール盤、3 本ローラー、高速／低速カッター等の設備があり、これらの機械設備を駆使した指導、表現、広義の技術研究を行っています。

○セラミック

オリエンテーションとして〈テラコッタ、及びセラミックの制作過程の概要〉〈土と火の性質の説明〉〈様々な表現について〉の講義を、スライド等を用いて行います。粘土による造形（手びねり、型の制作）、焼成の方法、仕上げまでの工程を、講義を交え実技指導します。セラミック焼成炉は 1250℃の本焼きができます。

○鋳造

ロストワックスを中心とした、ブロンズ鋳造に関する指導を行います。オリエンテーションとして、美術における鋳造表現の多様性、可能性、歴史、蠟型鋳造の工程等の講義を、スライド等を用いて行います。実技指導としては、蠟原型のための型の制作、蠟模型の制作、湯道等の制作、窯作り、鋳型の焼成、鋳込み、仕上げまでをその目的に応じて講義を交え指導します。可傾炉は大小合わせて 4 基。制作に合わせて使いこなします。

■石彫工房

石彫を通して表現の可能性を探ることを目的とします。年間を通じて石材の入手、搬入を計画的に行い、石材の基本的扱い及び基本的な工具の技術指導に始まり、適時、インバータ式クレーン、電動工具、エアーツール等の使用方法を指導します。

■プラスチック工房

ポリエステル樹脂を中心とした化学素材を扱う工房で、新素材の実験室としての機能も兼ねています。有機溶剤等の安全性を考慮した「push-pull 式」の強力な換気システムを備え、この工房全体が巨大な換気管となっています。これらの素材の持つ多種多様性に対応し、表現に即した技術の指導と批評を行います。

■木彫工房

木彫を通して表現の可能性を探ることを目的としています。木材の性質、目的に応じた接合方法の考察、基本工具等、具体的な指導と共に彫刻全般における表現についての考察、指導をしてゆきます。

■ミクストメディア工房

ミクストメディアという言葉には「複合的な素材」という意味と「複数の表現媒体」いわゆるマルチメディアという意味があります。この工房の方針としてはこの両面に対応し、表現における広義の技術の考察と表現の実験と実践に対する指導を行います。なお、この工房は様々な素材に対応してゆかなければならないので、制作環境、計画性、素材の入手と保管方法などについての徹底的な自己管理が要求されます。

■ デジタル工房

数台のPC、3Dプリンタ、レーザーカッター、コンピュータ制御による3D切削機等の設備を備え、PCからの3D出力や、映像的なアプローチが可能です。ここではそれぞれの技術レベルの格差を踏まえ、それを土台とした独自の表現を探求する場として指導してゆきます。

表現演習 I・II

主に3年次の学生を対象とした講義・演習系の授業で、造形総合Ⅱ類として他学科にも開講していません（木曜日4時限、Ⅰ（前期）2単位＋Ⅱ（後期）2単位）

彫刻学科では過去にもコンテンポラリーアートに関する特別講義を実技時間帯の中に組み込み、表現活動により密着したあり方の講義を開講してきました。「表現演習Ⅰ・Ⅱ」はこれをさらに推し進めて2003年から、より計画的で多様な授業展開を行うために、それまでの集中講義の経験をもとに、実技カリキュラムと少し距離を置いた位置づけとして始まりました。

この授業は大きく分けると2つのテーマで構成されています。一つは自己表現の根拠としての美術史を考察すること。美術史を単なる知識とせず、表現を分析し様々な視点からそれぞれの美術史を組み立て、それについて独自の表現手段を模索することが挙げられます。もう一つは多様な表現論による同時代性の考察です。まさに「現実」をどのように捉えるかという問題において、学科のカリキュラムとして評価している基準とは必ずしも一致しない、異なる観点からのアプローチを行います。多領域の専門家、表現者を招き、様々な捉えられる現実の局面に焦点を当てた、講義・演習など多様な形態の授業です。

教育課程

彫刻学科の教育課程は、各学科共通の文化総合科目と、造形総合科目、彫刻学科の学科別科目から成り立っています

卒業に必要な単位は、この授業科目区分ごとに定められています。自分の入学年度（学年）の単位構成をよく確認して、履修計画を立ててください。

なお、教職に関する科目を履修する場合と博物館に関する科目を履修する場合には、卒業に必要な単位との関係に十分注意しなくてはなりません。詳しくは、この『履修・学修ガイドブック』の「教職に関する科目」「博物館に関する科目」の項と、別に用意されている『教職課程ガイドブック』および『学芸員課程の履修について』をよく読んで履修計画を立ててください。

履修上の注意事項

各授業科目区分の卒業所要最低単位を修得した上に、「自由選択枠」として、文化総合科目、造形総合科目Ⅱ類、学科別科目Ⅱ類（選択）、他大学単位互換科目の中から選択して、22単位を修得しなければなりません。また教職に関する科目および博物館に関する科目からも、あわせて12単位までは、ここに算入することができます。

2024 年度入学生 (1 年生)
彫刻学科 / 単位表

学 年		1		2		3		4		卒業所要 最低単位	
進級単位		14		12		12		6			
科目区分		科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位		
文化総合 科目	I 類	履修学年指定なし								24	
	II 類	履修学年指定なし								16	
	I 類または II 類	履修学年指定なし								10	
造形総合科目	I 類	必修	造形総合・絵画 I	2						4	
			造形総合・デザイン I	2							
		選択 必修	造形総合・絵画 II	2	}	}	}	}	}	}	}
			造形総合・彫刻 II	2							
			造形総合・デザイン II	2							
			造形総合・工芸 II	2							
	造形総合・メディア表現 II	2									
	II 類	選択 必修	履修学年指定なし								2
	造形専門科目	I 類	必修	基礎造形	2	彫刻 E	2	彫刻 H	2	彫刻 M	3
				彫刻 A	2	彫刻 F	3	彫刻 I	2	彫刻 N	3
彫刻 B				2	彫刻 G	3	彫刻 J	2			
選択 必修		造形基礎・選択 日本画	2	}	}	}	}	}	}	}	
		造形基礎・選択 油絵	2								彫刻 C
	造形基礎・選択 版画	2		工芸制作 I ※	2						
	造形基礎・選択 彫刻	2		彫刻 D	2						
		〔デザイン基礎 (映像メディア表現を含む)〕※	2		デザイン II ※	2					
II 類	選択	THE VIRTUAL FORM I	2			表現演習 I	2				
		THE VIRTUAL FORM II	2			表現演習 II	2				
		Art & Communication I	2								
		Art & Communication II	2								
		Art & Communication III - 1 1 Art & Communication III - 2 2								0	
	卒業制作							卒業制作	6	6	
自由選択枠		各区分の最低所要単位を満たした上で、文化総合科目、造形総合科目 II 類、学科別科目 II 類(選択)、他大学単位 互換科目の中から選択履修(教職に関する科目、博物館に関する科目からあわせて 12 単位まで含めることができる)。								22	
合 計										124	

※教職履修生について

- ・「造形総合・デザイン I」の代わりに、学科別科目「デザイン基礎 (映像メディア表現を含む)」を履修する。
- ・学科別科目「デザイン基礎 (映像メディア表現を含む)」を修得することで、「造形総合・デザイン I」を修得したとみなす。
- ・「彫刻 C」の代わりに、「工芸制作 I」を履修する。
- ・「彫刻 D」の代わりに、「デザイン II」を履修する。
- ・「工芸制作 I」の開講期間は教育課程表を確認すること。

2023 年度入学生 (2 年生)
彫刻学科 / 単位表

学 年		1		2		3		4		卒業所要 最低単位	
進級単位		14		12		12		6			
科目区分		科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位		
文化総合 科目	I 類	履修学年指定なし								24	
	II 類	履修学年指定なし								16	
	I 類または II 類	履修学年指定なし								10	
造形総合科目	I 類	必修	造形総合・絵画 I 造形総合・デザイン I	2 2						4	
		選択 必修	造形総合・絵画 II 造形総合・彫刻 II 造形総合・デザイン II 造形総合・工芸 II 造形総合・メディア表現 II	2 2 2 2 2						6	
	II 類	選択 必修	履修学年指定なし								2
	造形専門科目	I 類	必修	基礎造形 彫刻 A 彫刻 B	2 2 2	彫刻 E 彫刻 F 彫刻 G	2 3 3	彫刻 H 彫刻 I 彫刻 J 彫刻 K 彫刻 L	2 2 2 3 3	彫刻 M 彫刻 N	3 3
選択 必修			造形基礎・選択 日本画 造形基礎・選択 油絵 造形基礎・選択 版画 造形基礎・選択 彫刻	2 2 2 2	彫刻 C 工芸制作 I ※ 彫刻 D デザイン II ※	2 2 2 2					38
			〔デザイン基礎 (映像メディア表現を含む)〕※	2							6
II 類		選択	THE VIRTUAL FORM I THE VIRTUAL FORM II Art & Communication I Art & Communication II	2 2 2 2		表現演習 I 表現演習 II Approaches to 3D Form I Approaches to 3D Form II	2 2 2 2				0
	卒業制作							卒業制作	6	6	
自由選択枠		各区分の最低所要単位を満たした上で、文化総合科目、造形総合科目 II 類、学科別科目 II 類(選択)、他大学単位互換科目の中から選択履修(教職に関する科目、博物館に関する科目からあわせて 12 単位まで含めることができる)。								22	
合 計										124	

※教職履修生について

- ・「造形総合・デザイン I」の代わりに、学科別科目「デザイン基礎 (映像メディア表現を含む)」を履修する。
- ・学科別科目「デザイン基礎 (映像メディア表現を含む)」を修得することで、「造形総合・デザイン I」を修得したとみなす。
- ・「彫刻 C」の代わりに、「工芸制作 I」を履修する。
- ・「彫刻 D」の代わりに、「デザイン II」を履修する。
- ・「工芸制作 I」の開講期間は教育課程表を確認すること。

2022 年度入学生～2021 年度入学生（3・4 年生）

彫刻学科／単位表

学 年		1		2		3		4		卒業所要 最低単位		
進級単位		14		12		12		6				
科目区分		科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位			
文化総合 科目	I 類	履修学年指定なし								24		
	II 類	履修学年指定なし								16		
	I 類または II 類	履修学年指定なし								10		
造形総合科目	I 類	必修	造形総合・絵画 I	2						4		
			造形総合・デザイン I	2								
		選択 必修	造形総合・絵画 II	2	}	2	}	2	}	2	6	
			造形総合・彫刻 II	2								
			造形総合・デザイン II	2								
	造形総合・工芸 II		2									
	造形総合・メディア表現 II	2										
	II 類	選択 必修	履修学年指定なし								2	
	造形専門科目	I 類	必修	基礎造形	2	彫刻 E	2	彫刻 H	2	彫刻 M	3	32
				彫刻 A	2	彫刻 F	3	彫刻 I	2	彫刻 N	3	
彫刻 B		2		彫刻 G	3	彫刻 J	2					
選択 必修		造形基礎・選択 日本画	2	}	2	}	2	}	2	38		
		造形基礎・選択 油絵	2									
	造形基礎・選択 版画	2										
	造形基礎・選択 彫刻	2										
		〔デザイン基礎 (映像メディア表現を含む)〕	2	※					6			
学科別科目	II 類	選択	THE VIRTUAL FORM I	2			表現演習 I	2		0		
			THE VIRTUAL FORM II	2			表現演習 II	2				
		Art & Communication I	2				Approaches to 3D Form I	2				
		Art & Communication II	2				Approaches to 3D Form II	2				
						Art & Communication III - 1	1					
						Art & Communication III - 2	2					
	卒業制作							卒業制作	6	6		
自由選択枠		各区分の最低所要単位を満たした上で、文化総合科目、造形総合科目 II 類、学科別科目 II 類(選択)、他大学単位互換科目の中から選択履修(教職に関する科目、博物館に関する科目からあわせて 12 単位まで含めることができる)。								22		
合 計										124		

※教職履修生について

- ・「造形総合・デザイン I」の代わりに、学科別科目「デザイン基礎（映像メディア表現を含む）」を履修する。
- ・学科別科目「デザイン基礎（映像メディア表現を含む）」を修得することで、「造形総合・デザイン I」を修得したとみなす。
- ・「彫刻 C」の代わりに、「工芸制作 I」を履修する。
- ・「彫刻 D」の代わりに、「デザイン II」を履修する。

造形専門科目教育課程表

(1年・2年)

月	2024年4月				5月				6月				7月			8月		
日	1 6	8 13	15 20	22 27	29 4	6 11	13 18	20 25	27 1	3 8	10 15	17 22	24 29	1 6	8 13	15 20	22 27	7/29 8/31
期	1期				2期				3期									
授業週	入学式 4/2	オリエンテーション週間 4/2	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
学事予定	前期授業開始 4/8						教育実習				前期授業終了(文化総合科目) 7/13			前期補講 前期定期試験週間 7/15~20	オープンキャンパス 7/13(予定)	前期定期試験週間 7/15~20	鷹の台 7/22~8/31	夏季休業 市ヶ谷 7/29~8/31
1年 (Ⅰ限・Ⅱ限)	基礎造形				彫刻 A				彫刻 B							工芸制作Ⅰ※		
	表現基礎Ⅰ				表現基礎Ⅱ				表現基礎Ⅲ									
	2024年度 入学生				THE VIRTUAL FORM I <small>金曜 5限</small>				Art & Communication I <small>木曜 3・4限</small>									
2年 (Ⅲ限・Ⅳ限)	彫刻 C				彫刻 D				彫刻 E									
	選択テーマ				塑造実習Ⅰ				塑造実習Ⅱ									
	2023年度 入学生				工芸制作Ⅰ ※教職履修者必修				デザインⅡ ※教職履修者必修									
				THE VIRTUAL FORM I <small>金曜 5限</small>														

●オリエンテーション週間 4/1~4/6

- 専門科目 必修
- 専門科目 選択必修/選択
- 造形総合科目

9月				10月			11月				12月				2025年1月~3月								
2 7	9 14	16 21	23 28	30 5	7 12	14 19	21 26	28 2	4 9	11 16	18 23	25 30	2 7	9 14	16 21	23 28	30 4	6 11	13 18	20 25	1/27 3/31		
4期				5期			6期				7期												
17	18	19	20	21	22	23			24	25	26	27	28	29	30		31	32	33				
後期授業開始 9/2							芸術祭活動 10/21~11/2								後期授業終了(文化総合科目) 12/14				後期定期試験週間 12/16~21				
															後期補講								
															冬季休業 12/23~1/4								
															卒業・修了制作展 1/16~1/19 (鷹の台キャンパス)								
															卒業・修了制作展 1/31~2/2 (市ヶ谷キャンパス)								
造形基礎・選択				造形総合I類 選択必修			造形総合 デザイン I				造形総合 絵画 I												
							デザイン基礎 (映像メディア表現を含む) ※教職履修者必修																
金曜 5限				THE VIRTUAL FORM II																			
木曜 3・4限				Art & Communication II																			
彫刻 F				実材実習			彫刻 G				実材実習												
金属(彫刻学科研究室)				石彫(共通彫塑研究室)			金属(彫刻学科研究室)				木彫(共通彫塑研究室)												
金曜 5限				THE VIRTUAL FORM II																			

科目	単位
<造形総合科目> I類必修 造形総合・デザイン I 造形総合・絵画 I I類選択必修	2 2 2
<学科別科目> I類必修 基礎造形 彫刻 A 彫刻 B I類選択必修 造形基礎・選択 日本画 造形基礎・選択 油絵 造形基礎・選択 版画 造形基礎・選択 彫刻	2 2 2 (2) (2) (2) (2) 計 14
※デザイン基礎 (映像メディア表現を含む) ※工芸制作 I は、1年次の 夏季休業中に実施します が、履修登録と成績入点 は2年次に行います。	(2)
II類選択 THE VIRTUAL FORM I THE VIRTUAL FORM II Art & Communication I Art & Communication II	2 2 2 2
<学科別科目> I類必修 彫刻 E 彫刻 F 彫刻 G	2 3 3
I類必修 彫刻 C ※工芸制作 I	(2) (2)
彫刻 D ※デザイン II	(2) (2)
II類選択 THE VIRTUAL FORM I THE VIRTUAL FORM II	2 2
計	12

● 祭典 10/25~10/27

● 卒制展 1/16~1/19 (鷹の台キャンパス)
● 卒制展 1/31~2/2 (市ヶ谷キャンパス)

造形専門科目教育課程表

(3年・4年)

月	2024年4月				5月				6月				7月			8月			
日	1 6	8 13	15 20	22 27	29 4	6 11	13 18	20 25	27 1	3 8	10 15	17 22	24 29	1 6	8 13	15 20	22 27	7/29 8/31	
期	1期				2期				3期										
授業週	入学式 4/2	オリエンテーション週間 4/2	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	
学事予定	前期授業開始 4/8										教育実習				前期補講 前期定期試験週間 7/15~20 オープンキャンパス 7/13, 14(予定) 前期授業終了(文化総合科目) 7/13		夏季休業 市ヶ谷 7/29~8/31 鷹の台 7/22~8/31		
3年 (Ⅰ限・Ⅱ限)	彫刻 H		選択テーマ専門課程 I (プランニング/エクササイズ)				彫刻 I				専門課程 II (素材/形態)				彫刻 J			3年次前期末提示	
	2022年度入学生																		
木曜 4限																		表現演習 I	
4年 (Ⅲ限・Ⅳ限)	彫刻 M				「逸脱」				彫刻 N				4年次前期末提示						
	2021年度入学生																		

●オリエンテーション週間 4/1~4/6

- 専門科目 必修
- 専門科目 選択必修/選択
- 造形総合科目

9月				10月			11月				12月				2025年1月~3月						
2 7	9 14	16 21	23 28	30 5	7 12	14 19	21 26	28 2	4 9	11 16	18 23	25 30	2 7	9 14	16 21	23 28	30 4	6 11	13 18	20 25	1/27 3/31
4期				5期			6期				7期										
17	18	19	20	21	22	23			24	25	26	27	28	29	30		31	32	33		
後期授業開始 9/2							芸術祭活動 10/21~11/2								後期授業終了(文化総合科目) 12/14						
後期補講 後期定期試験週間 12/16~21											冬季休業 12/23~1/4				卒業・修了制作展 1/16~1/19 (鷹の台キャンパス)						
											卒業・修了制作展 1/31~2/2 (市ヶ谷キャンパス)										
彫刻K 専門課程Ⅲ (形象と媒体)							彫刻L 学年末提示														
木曜 4限 表現演習Ⅱ																					
卒業制作																					

科目	単位
<学科別科目> I類必修 彫刻 H 彫刻 I 彫刻 J 彫刻 K 彫刻 L 計	2 2 2 3 3 12
II類選択 表現演習Ⅰ 表現演習Ⅱ Approaches to 3D FormⅠ Approaches to 3D FormⅡ	2 2 2 2
<学科別科目> I類必修 彫刻 M 彫刻 N 卒業制作	3 3 6
計	12

● 祭典 10/25~10/27

● 卒制展 1/16~1/19 (鷹の台キャンパス)
● 卒制展 1/31~2/2 (市ヶ谷キャンパス)